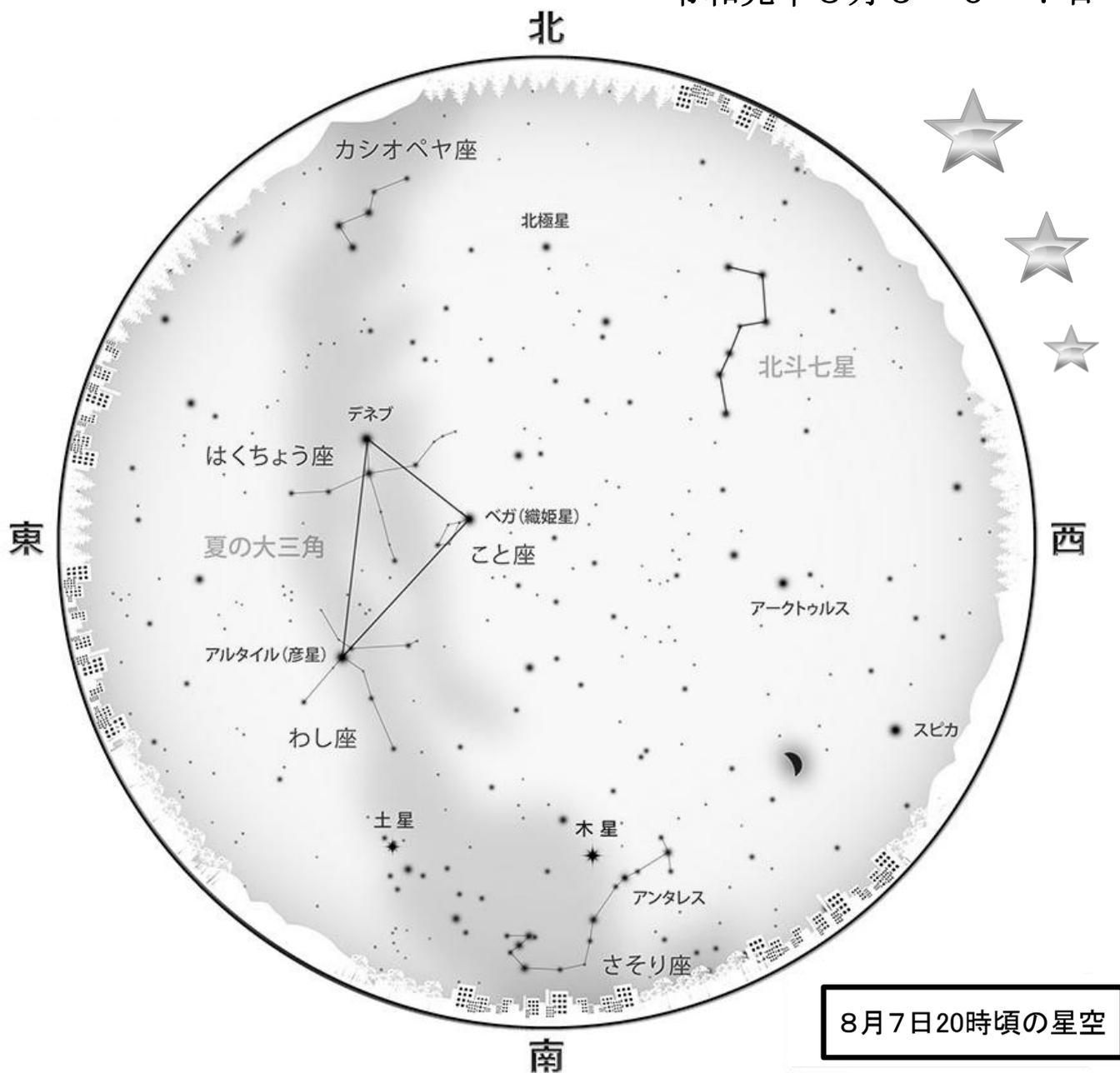


松江市立天文台～夏休みの天文教室～ 夜空を見上げよう「夏の星」

令和元年 8月5・6・7日



8月1日から7日は「スター・ウィーク～星空に親しむ週間～」です。梅雨が明けて天気も安定し、星空を気軽に眺めるには、とても適した時期です。

また、8月7日は、旧暦七夕でもあります。

本日参加の皆さまも、是非すばらしい夏の夜空を楽しんでください。

木星や土星などの惑星も見逃せません。

木星と土星は8月の位置を示しています。

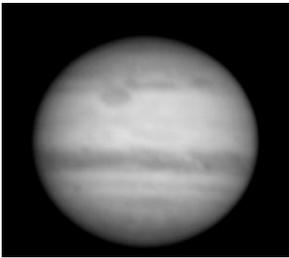
月は8月7日の位置を示しています。天文教室期間中、遅い時間には月が低くなるため観察できない場合があります。この星図で星を探すときは、見る方角を下にしてみましょう。

もっとも身近な天体~月

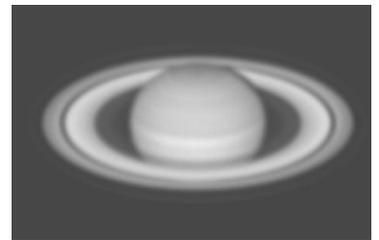
月は地球からの距離が約38万キロ、地球の周りを約27日でまわっています。天体望遠鏡でクレーターのある雄大な表面地形を観察することができます。



太陽系の仲間、木星と土星



木星も土星も私たちの地球と同じ太陽を回る惑星です。しかし、木星の直径は地球の11倍、土星は9.5倍もある巨大な天体です。また、ガスでできた惑星で、固い地面がありません。



夏の大三角



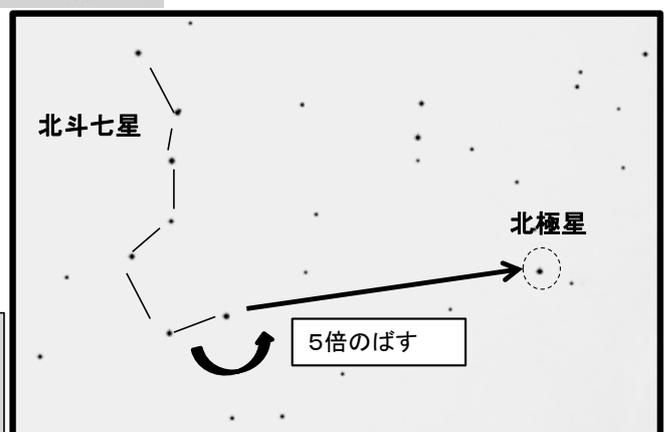
夏の大三角は、夏を代表する三つの一等星が作る三角形です。

このうち、ふたつの星は七夕の星として有名で、こと座のベガは「おりひめ星」、わし座のアルタイルが「ひこ星」にあたります。

北極星をみつけよう

北極星はほとんど同じ場所に見えるので、方角を知るめじるしになります。北斗七星のひしゃくの先の星を5倍のばすと、見つけることができます。

星空の図、月、木星、土星の画像は、国立天文台の資料から作成しています。資料のデータは天文年鑑、アストロアーツから引用しています。使用する天体望遠鏡によっては、視野の上下左右が逆に見えます。また、空のコンディション(雲、透明度)により、天体の見え方は違います。



9月の天文教室

開催日 9月11日(水) 20時から21時まで
(受付は19時30分から市役所正面玄関で行います。)
事前の予約は不要です。



★ MAC Matsue Astronomy Club
松江星の会